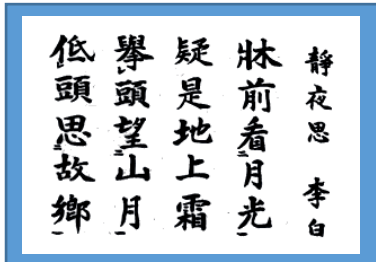


## 3年目研修：研究授業と市原市名誉市民：深沢幸雄氏作品名調査中

### 2021.02.10「3年目研修：研究授業（国語総合）」

2月10日（水）の4時間目に、松本教諭の3年目研修の一環として、1年B組で国語総合の研究授業が行われました（この授業は、少人数授業で行われています）。この時間の教材は、中国の唐の時代の詩人である李白(701-762)の詩「静夜思」でした。この授業の目標は、本文を根拠に「静夜思」の情景をイメージすることができるというものでした。生徒たちは、月を見ている作者が、①どのような月を見ているのか、②どのような風景を見ているのか、配付された月の写真（3枚）や風景の写真（8枚）の中から生徒一人一人がそれぞれイメージする写真を選ぶとともに選んだ理由をワークシートに記入していきました。また、この詩の書かれた時間・季節、場所、作者の体勢など生徒の自由な発想を机間指導とともにテンポよく引き出すだけでなく、生徒一人一人の発想をよく称賛していました。生徒の思考力・判断力・表現力を求める授業展開でした。



授業内容の説明時の様子



イメージした写真の選択と理由を考える生徒



生徒がイメージした「月の形」を聞く松本教諭



作者が見ている風景を聞く松本教諭



机間指導中時の様子

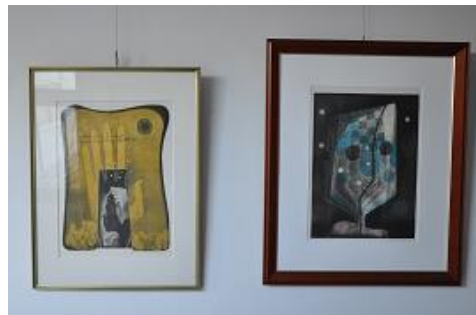


李白 (Li Bai)

### 2021.02.10「市原市名誉市民：深沢幸雄氏作品名調査中」

本校には、市原市名誉市民で、本校の美術教師として昭和25年から昭和53年まで勤務された版画家・銅版画家の深沢幸雄氏(1924-2017)の作品が7点（図書室2点、事務室1点、事務室前廊下壁面2点、第1応接室1点、修道館1点）展示されています。深沢氏の作品と判明しても作品名や製作年度が表示されていないために、7作品すべての作品名等を明らかにして、作品とともに表示をしたいと考え準備を進めています。

表示が済み次第、本校にある深沢氏の作品7点について紹介をします。



事務室前廊下壁面に展示されている深沢氏の作品